

12月27日（水）

終業式 校長先生のお話「こころをみがいた2学期」

これ（くすんだ丸い玉）は、校長先生の心です。ほうっておくと、こんなふうにはこりがついたり、よごれたりします。だから時々きれいにみがく必要があります。皆さんの心も同じです。こんなふうに心がよごれると、悪口を言ったり、うそをついたり、人をたたいたり、いじめたり、どろぼうをしたりするようになってしまいます。

だから心はいつもきれいにしておかなければいけないのですが、この玉のように布でみがくこと



はできません。では、どうやってみがいたらいいのでしょうか。2人の先生に聞いてみます。

飯島先生は、おそうじをして身の周りをきれいにしたり、好きなスポーツに打ち込んだりすることで心をはみがくのです。細川先生は、本を読むことで、心をはみがくと答えてくれました。

2学期の始業式に、校長先生は、「心をはみがく」ための方法を3つお話ししました。その様子を写真で見てみま

しょう。

1つめは、「清掃」です。床や庭を一生懸命にきれいにそうじしています。

2つめは、「あいさつ」です。あいさつ応援団の皆さん、頑張ってくれました。

3つめは、「はきものをそろえる」です。全クラスの下駄箱の様子です。8月30日、雨が降った朝も、こんなにはきものがそろっていました。上はきがよくそろっているクラスもありました。

こうやってみなさんは、心をはみがいてきました。心はいつもみがいていないと、このようにほこりだらけになってしまうので、3学期もみがき続けましょう。

最後に図書館利用について、お知らせします。2学期、全校で20969冊の本の貸し出しがありました。一人平均65冊です。1、2学期合わせると一人117冊です。3学期も合わせると、150冊に届くかもしれません！

